

キャラクター名
燕昇司 零凍(えんしょうじ れいと)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ノイマン		ワークス	ヒーローC	カヴァー	ヒーロー
	オプショナル		年齢	19	性別	男
覚醒	素体	衝動	殺戮	初期侵食率	40	%
出自	双子	経験	トラウマ	邂逅	自身	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	2		0			2	行動値	23
感覚	0		0		1	1	(非装備時)	20
精神	4	1	2		2	9	戦闘移動	25
社会	2		0			2	全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11	9	射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:ヒールアクション	1		知識:レネゲイド	2		情報:ヒーロー	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
氷炎の剣	白兵	9r+18	6	16		リーサルシャイン・アームドスカーフ適用済
氷炎の剣+地獄の氷炎 ×2	白兵	9r+18	6	34		
(100↑)	白兵	9r+16	6	68		
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アームドスカーフ(RW)※		2	-	3	装備中エフェクト作成武器の攻撃力+4

合計装甲: 2 合計回避: 0

所持品	
ヒーローズクロス(RW)	
カテゴリ:ルーキー(RW)	
鏡のアイデア(CE)	
リーサルシャイン(HR)	
インフィニティコロナ(HR)	
パワースーツ:サイエンス(RW)	
デモンズシード(HR)	
コネ:ヒーローマニア(RW)	
メモリー「一通の手紙」	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
戦闘用人格	P	N		
究極のゼロ	P	N		
燕昇司 燐百[BL]	P 尽力	N 劣等感		
パラディン	P 憧憬	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセプト:ノイマン	2	2+1	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-LV(下限値7)							
武芸の達人	3	基4	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	<白兵>の達成値+[LV×3]/非暴走時のみ							
苛烈なる火	3	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	ラウンド間攻撃力+[LV×3]/HP5点失う							
氷熱の軍団	5	10	イニシアチブ	視界	シーン(選択)	自動	120↑	
効果:	ラウンド間攻撃力+[LV×4]							
ラストアクション	1	5	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果:	戦闘不能時/メインプロセスを行う/行動済にならない							
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	判定直後使用/達成値+[LV×3]							
氷炎の剣	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	武器作成/命中:-2/攻撃力:[LV+6]/G値:6							
地獄の氷炎	6	2+1	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果:	↑で作成した武器の攻撃力orG値+[LV×3]							
マルチウェポン	4	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	装備武器2つの攻撃力と効果を合計/達成値-[5-LV]							
コントロールソート	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	【精神】で<白兵>判定を行える							
フレームタン	1	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	白兵攻撃の射程を視界に/攻撃力-[5-LV]							
紅蓮の衣	4	2	メジャー	至近	-	対決	-	
効果:	ガードに対するダメージ+[LV×5]							
クロスバースト	3	4	メジャー	-	-	対決	80↑	
効果:	攻撃力+[LV×4]/ダイス-2個							

○パーソナルデータ
 夜来学園を卒業したばかりの駆け出しのヒーロー。卒業試験の成績はかなり上位で、周囲から大きな期待を受けている。普段は冷静で寡黙、無愛想で捻くれた性格だが、カメラの前など「ヒーロー活動」の際にはスイッチが入ったように明るくまっすぐな正義感の強さに「ヒーロー」といった性格になる。基本的にソロで活動しているためヒーロー「ルージュフレーム」の正体を知るものは少ない。むしろ双方の顔を見て気づかれないレベルだろう。そのくらい普段の彼とヒーローとしての彼のギャップは大きいのだ。

○出自
 燕昇司家に生まれた双子の兄弟の兄。弟の名前は「燐百(りんと)」。レネゲイド解放での混乱の最中産まれたが、裕福な家庭のおかげで何ん自由なく比較的平穏な暮らしを送っていた。
 しかし、世間に「ヒーロー」という存在が現れてから、燕昇司家はヒーローを利用した金儲けの策を考え始めるようになった。その金策のひとつとして、自らの息子たちをトップヒーローにすることを考えた零凍と燐百の父親は、二人を実験台にし、オーヴァードとして覚醒させた。
 二人はトップヒーローになるための英才教育を受ける。サラマンダーとして覚醒した二人はそれぞれ「究極のゼロ」と「永遠の炎」という特殊な能力を持ち、氷と炎の力をそれぞれ高めていく。零凍には「ブリザードヴェール」燐百には「ルージュフレーム」というヒーローネームが与えられた。
 しかし、歳を重ねるにつれ、二人には明確な違いが出始める。弟の燐百は正義感が強く協調性もある明るい性格に育ったが、兄である零凍は無口で愛想のない、言わば「ヒーロー適性」の低い性格に育ってしまった。父親がそれを察した頃から零凍は「出来損ない」という扱いを受けるようになる。それがさらに心を閉ざしていくのを加速させた。
 二人が夜来学園の高等部に進学する直前、父親はある決断を下した。それは、燐百を素体にして零凍を融合させ、零凍の「能力」だけを燐百に移し、二人の能力を持った最高のヒーロー「ルージュフレーム」を作り出す実験を行うことだった。
 二人の許可を得ることもせず、拘束された二人は為す術もなく実験体となる。
 「お前みたいな出来損ないでも最高のヒーローの『種』になれるんだ、有り難く思え」——それが零凍の聞いた最期の言葉になる——はずだった。
 ——実験は失敗した。
 ——融合自体は成功したのだ。ただ一つだけ、研究者たちは致命的な失敗を犯した。

